

研究機関名：仙台医療センター

受付番号：
<p>【研究課題名】 高齢心不全患者におけるhospital-associated disability (HAD)の重症度の予測因子とHADを有する心不全患者の退院時の特徴についての検討</p>
<p>【研究期間】 西暦 2022 年 12 月(倫理委員会承認後) ～ 2027 年 11 月</p>
<p>【研究の対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2016年4月～2022年3月の期間に心不全の診断で当院循環器内科に入院した65歳以上の患者。 ・医師から心臓リハビリテーション(心リハ)が処方された患者。 ・入院前のactivities of daily living (ADL)が自立(Barthel Index: BI \geq 85点)していた患者。 ・退院時にHADを認めた患者。
<p>【研究の目的・方法】</p> <p>目的：高齢心不全患者におけるHADの重症度の予測因子とHADを有する心不全患者の退院時の特徴を明らかにする。</p> <p>方法：心リハ開始時および退院時の身体機能や栄養状態、認知機能、Barthel index (BI)を電子カルテより後方視的に調査する。使用する過去の診療データは2016年4月～2022年12月とする。HADの定義は退院時のBIが入院前のBIと比較して、5点以上の低下とする。統計解析には重回帰分析、McNemer検定を用いて解析を行う。</p>
<p>【研究に用いる試料・情報の種類】 通常診療の範囲で行われている検査データや患者情報。</p>
<p>【外部への試料・情報の提供】 外部への試料・提供なし。</p>
<p>【試料・情報を利用する者の範囲】 国立病院機構仙台医療センター リハビリテーション科 鈴木 彪流 国立病院機構仙台医療センター リハビリテーション科 高橋 蓮 国立病院機構仙台医療センター 臨床研究部客員研究員 横田 純一(弘前大学大学院保健学研究科総合リハビリテーション科学領域)</p>
<p>【問い合わせ先】 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。 また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>仙台医療センター リハビリテーション科 鈴木 彪流 (代表研究者) 〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-11-12 TEL:022-293-1111 FAX:022-291-8114</p>